**事業所自己評価シート**

**令和6年度**

保護者による評価

Ａ環境面

・環境面で不満の声はなかった。

Ｂ児童への支援内容

・児童クラブ等との関わりは少ないが関わるのが難しいため求めていないというご意見もあった。

Ｃ事業所からの情報発信

・父母会の開催

・支援内容や児童の様子の説明を受けている

Ｄ非常対応

・緊急時の急な受け入れも行っている。

・避難訓練をしているか分からない。

職員による自己評価

Ａ環境面

・日中活動支援との多機能型の事業所のため施設内の人数が多くスペースの確保が難しいが屋外と屋内の活動する等の工夫をしている。

Ｂ児童への支援内容

・事前の打ち合わせで児童について共有し、各々が主体的に活躍できるように努めている。

Ｃ関係機関との連携

・関係機関と連携し情報共有しご家族、ご本人への支援を深めた。

Ｄ保護者への説明責任・信頼関係

・面談のみにならず普段からもご家族と深くコミュニケーションがとれるよう努めている。

・父母会の開催

Ｅ非常対応

・避難訓練のマニュアルはあるものの子どもたちへの避難訓練実施が出来ていない。

事業所内での分析

【共通点】

・活動や児童について深く打ち合わせを行っているため、活動では色々経験させていただきありがたいというお言葉もいただいている。

・父母会を開催したこと

・ご家族と信頼関係が築けていること。

【相違点】

・ご家族から環境面で不満の声はなかったが、やはり現場の職員からスペースが足りないという回答が多かった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

事業所の改善点

・

・夏休み等の長期休みの職員の休憩時間の確保

・防災訓練の打ち合わせも必要

・緊急時の受け入れ体制ができている。

・非常時、短期入所での対応も可能。

・ご家族の大変な話など聴いて相談しやすい環境を作っている。

・災害時の対策として防災用品の備蓄をしている。

・法人内の作業所やグループホーム見学も可能なため将来展望が描きやすい。

・今年度も父母会を開催し、活動の様子についての振り返りや質疑応答を行った。初めてお会いする母親同士でも挨拶して情報交換して有意義な会となった。

・避難訓練の実施を長期休みなど長い時間活動できるときに実施するとこまで話したが実施しなかったため、行動に移したい。

・以前から実施しているが、活動を外と中で分けて室内のスペースを確保しているが、天候に左右された場合、外の資源にも限りがありかなり工夫しながら日々過ごしている。

事業所の改善への取り組み

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

・毎年ご家族から通所を楽しみにしているなど明るいご意見をいただいて感謝している。子どもたちが楽しめるよう様々なことに挑戦したり、工夫したり全力で駆け抜けあっという間の1年だった。しかし楽しい活動を行うことに注力しすぎて、避難訓練など遊び以外の部分が疎かになっていたと感じる。事故もないよう、より安心して楽しめる場所を作っていきたい。

事業所名　　うれしの

担当者　福山　悟